



四編 摺心学草子

巻八

へ13  
2949



へ13  
2949  
2948

45

四十一  
二二三三

背時明友山東何びやうともうとも。善惡一雙の玉とぜんあくいつしやうのたま。塵ちん。  
 世よに輝かがやく已もよ三遍さんべんお登のぼる。這こゝろ頃ころ耕こゝろ書かきの  
 主人しゆじん余よよその四遍よんべんお需もちむ。鳥あひ庫くら我わが川がは童子どうじの尻しり  
 玉たまとぬく。笑わら下くだ和わ子の眼め玉たまと欺あざむん今いまや新あらた玉たま  
 三遍さんべん廻まわく煙けむり州しゅう包ほう舖ぽの川がは虫むしも陰かげ子こ。波なみ海うみも  
 把つかくもも。誰たれ相あ如ごとも全まく。一ひとつ。故ゆゑ。  
 洞ほらの壁かべ返かへりて。辭ことばをれりえ。え。れ。い。ま。よ。ま。  
 需もちみ塞ふさぐ。是こゝろに我わが作つくの換かりし。通とほ書かき。  
 親おやよ授たまく。丙辰春。馬琴識。

馬琴識





















おらちでいふより  
すうとちうてん  
かましまいとす  
くろいの一ふりつれ  
ちいぬいしん  
をすくふあ

いふはら  
ちいぬいしん  
くろいの一ふりつれ  
ちいぬいしん  
をすくふあ

おらちでいふより  
すうとちうてん  
かましまいとす  
くろいの一ふりつれ  
ちいぬいしん  
をすくふあ



おらちでいふより  
すうとちうてん  
かましまいとす  
くろいの一ふりつれ  
ちいぬいしん  
をすくふあ

いふはら  
ちいぬいしん  
くろいの一ふりつれ  
ちいぬいしん  
をすくふあ

おらちでいふより  
すうとちうてん  
かましまいとす  
くろいの一ふりつれ  
ちいぬいしん  
をすくふあ





そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの  
そのあつたまの

いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに

小便  
无用

いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに  
いふまに











田編





田島



天目

善魂如福神  
 一心堪忍袋  
 元來大事身聞  
 曲亭馬琴作

第十五大丁吉

惡王齊魔道  
 善魂如福神  
 一心堪忍袋  
 飛艇打愚人

元來大事身聞

曲亭馬琴作



あめり  
 こころも



中川集  
八  
跋  
卷